

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	その他専門店〔酒〕（経営者）	・歳暮商戦、年末商戦に向けて良くなるとみられる。
	○	商店街（代表者）	・我が国の技術力の高い分野への投資や、地方重視の成長政策などに期待したい。
	○	商店街（代表者）	・物価高や人件費の高騰、政局などに不安要素はあるが、観光客を中心に動きが活発になるとみられる。
	○	スーパー（企画担当）	・引き続き単価の上昇は続くので売上の伸びは続いていくとみられる。
	○	スーパー（企画担当）	・9月中旬からは猛暑も和らぎ、外部要因による影響はやや落ち着くとみられる。秋めいた気候になれば季節商材も動いてくるとみられる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・夏は猛暑の影響から売上が減少した。これからは季節が秋めいてくことから、売上は回復するとみられる。
	○	家電量販店（店員）	・冬のボーナス商戦と春の新生活準備需要に期待している。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・コンベンションなどの状況は悪くなく、大型客船来航などの予定も前年より増加を見込んでいる。国際定期便の運休の影響があるが、全体として良い方向で推移するとみられる。
	○	タクシー運転手	・運転手不足の影響で、車両の稼働率は平日が40%、休日が45%となっている。客に迷惑をかけている状態である。
	○	通信会社（営業部長）	・大きな商戦期である年末を控え、販売の最大化に向けた対応を検討している。
	○	通信会社（営業担当）	・来客数、販売数共に安定しており、新商品の販売や年末商戦に向けて期待している。
	○	観光遊園地（主幹）	・国際定期便の増便が予定されており、インバウンド客の増加が見込まれるため、先行きはやや良くなるとみられる。
	□	商店街（代表者）	・景気の回復や賃上げが進まず、現状を維持するとみられる。
	□	商店街（常務理事）	・想定よりも気温の低下が早く、秋物の動きに期待を持てるようになった。国内外から観光客も多く、街ににぎわいがある。必ずしも通行量の増加が売上に比例はしないが、消費環境としては悪くはない。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・例年並みの年末商戦になるとみられる。一部の客は付加価値のある高級商品を好む傾向もみられる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・祝い商品の予約は入ってきているが、送別商品の予約も入ってきているためどちらもいえない。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・10月にメーカー値上げの商品がある。生活必需品の食品が上げれば生活しにくくなる。
	□	百貨店（マネージャー）	・今後も物価高が続くとみられる。
	□	スーパー（店長）	・今の状況がしばらく続くとみられる。
	□	スーパー（店長）	・今のところ変化の兆候はみられないため、横ばいとみている。
	□	コンビニ（総務）	・芸術祭の終了後のイベントが今のところ見当たらない。現状は好調だが、これ以上伸長する明確な要素が見当たらない。
	□	コンビニ（商品担当）	・株価が上昇しても、物価上昇と消費者の節約志向により、コンビニでの消費は厳しい状況を予想している。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・気温が高く推移しているため秋物の動きが悪く、前年に続いて秋物商戦は厳しいとみられる。
	□	家電量販店（副店長）	・10月に各種の値上げを控えており、景気が良くなる要素は見当たらない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・人気車種の受注再開は見込めないため、先行きは横ばいとみている。
	□	乗用車販売店（従業員）	・物価高の影響により、客の購買意欲が上がらないため動きが良くない。
□	乗用車販売店（役員）	・株価含めた景気動向が不透明のため、先行きは横ばいとみている。	
□	一般レストラン（経営者）	・来客数は増加しているが、客単価が減少しているため、景気は変わらないとみられる。	
□	都市型ホテル（経営者）	・政局がどのように影響するか分からないため、変化はないとみられる。	

	□	競艇場 (マネージャー)	・若い家族層を取り込むイベントを、散発的に実施しており、来館の客層は、幅広くなってきているが、先行きは横ばいとみられる。
	□	設計事務所 (所長)	・資材や食品において、値上げが当たり前になっている。
	▲	スーパー (財務担当)	・ディスカウント店の出店が続いており、客が流出するとみられる。
	▲	スーパー (統括担当)	・物価高のなか、消費は更に引締めの方角に向かっていくようにみえる。
	▲	コンビニ (店長)	・10月に多品目の値上げを予定しており、客の購買意欲が低下すると懸念している。
	▲	コンビニ (店長)	・物価上昇のため買上点数が減少している。今後は来客数が更に減少するとみられる。
	▲	衣料品専門店 (経営者)	・地方の企業は、一部を除いて景気が良くなりそうにないとみられる。
	▲	衣料品専門店 (経営者)	・賃金も上昇しているが、物価高に追い付いておらず悪くなるとみられる。
	▲	観光型旅館 (経営者)	・電気・ガス料金の補助の終了や、生活必需品の更なる値上げにともない、余暇にまわす支出が減ると考える。
	▲	美容室 (経営者)	・あまり客が動かない時期のため、先行きはやや悪いとみられる。
	▲	美容室 (経営者)	・人手不足や物価高でやや悪化するとみている。
	×	*	*
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	食料品製造業 (商品統括)	・最低賃金引上げが行われるなかでも人手の集まらない職種が多い。中小企業にとっては人材確保を行うため、より収入アップさせることと働きやすい仕組み構築を進めているので、やや良いとみている。
	○	繊維工業 (経営者)	・年末に一部商品の値上げが予定されており、値上げ後の受注に不安はあるが、景気そのものは悪くないためおおむね現状のまま推移するものとみている。
	○	鉄鋼業 (総務部長)	・期待感を含めてではあるが、米国の関税問題が落ち着けば投資が進んでいくとみている。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	・日本株や米国株が上昇基調であることから、景気は良くなるとみられる。
	○	輸送業 (経営者)	・我が国の変化に期待しているため、やや良くなるとみられる。
	□	食料品製造業 (経営者)	・最低賃金引上げが、製品価格に転嫁できず、利益を圧迫するとみられる。
	□	木材木製品製造業 (営業部長)	・大手ハウスメーカーの受注速報は若干の減少が続いており、今後も厳しい状態が継続するとみられる。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業 (経理)	・原材料価格の高騰により製造原価が上昇している。販売価格に転嫁しなければ利益が取れない。11～12月は年末の掃除に向けてウェットクリーナーの売上が増加するとみられる。
	□	化学工業 (所長)	・物価高により、当社のような包装材料メーカーの状況は改善しないとみている。
	□	一般機械器具製造業 (経理担当)	・米国の関税政策による影響や地政学的リスクの高まりなどにより、先行きの不透明感が増すなか、世界経済の下振れを懸念している。
	□	電気機械器具製造業 (経理)	・米国の関税の先行き不透明感、円安、物価高など改善の兆候はみられず、先行きは横ばいとみている。
	□	建設業 (経営者)	・政権が変われば、流れが変わるとみられる。
	□	建設業 (経営者)	・資材の高騰、政治の動きから先行きは横ばいを見込んでいる。
	□	通信業 (企画・売上管理)	・芸術祭の秋会期のため、観光客に対するPR強化で広告費が増えることを期待している。
	□	通信会社 (総務担当)	・第3四半期に新たな受注の上積みが見込めないため、変わらないとみられる。
	□	広告代理店 (経営者)	・小売流通の販売促進関係予算は、下げ止まり傾向である。また、人材不足のため採用関連の受注は増えているが、全体としてはあまり変わらないとみられる。
	▲	金融業 (副支店長)	・賃金が上昇しない状況で物価が上昇しているため、やや悪くなるとみられる。
	▲	税理士事務所	・株価は上昇しているが、人件費の高騰などで中小企業を取り巻く環境が厳しくなっていくとみている。
	×	—	—

雇用 関連  (四国)	◎	—	—
	○	—	—
	□	求人情報誌（営業）	・県内企業での景気に関して、良くも悪くもトピックスが少なく変化がみられない。そのため景気は変わらないとみられる。
	□	職業安定所（求人開発）	・景況について、変わらないと回答している企業が多く、特段の増減要因を想定していないという声が多いため、横ばいとみられる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・求人の動きを見る限り、目立った動きは見られないため、横ばいとみている。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数は引き続き好調とみられる。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	・最低賃金上げが、人材ビジネスに悪い影響を与えるとみている。
	▲	人材派遣会社（オフィス責任者）	・最低賃金上げの影響から、やや悪化するとみている。
	▲	求人情報誌制作会社（経営者）	・人件費や物価の上昇により採用を控える企業が増えてきており、今後の求人数は減少するとみている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・民間の景気が良くなる限りは、厳しさは続くとみている。
×	—	—	